

2017年12月8日

JR九州高速船株式会社



「日韓航路向け三胴船に係る合意書」の締結について

MEMORANDUM OF UNDERSTANDING
Japan-Korea Trimaran Project

JR九州高速船株式会社(所在地:福岡県福岡市、代表取締役:水野 正幸)は、2018年に創立30年を迎え、54ヶ国100社に対し、300隻以上のアルミ船体の高速フェリー及び商船を設計・製造してきた世界的な造船会社 AUSTAL(本社:オーストラリア)と、日韓航路をメインとする新型高速船の建造に向けて協議を開始することに合意し、本日付でMOU(了解覚書)を締結しました。

新型高速船は、現行ビートルの2倍以上の座席数を擁する80m級のトリマラン(三胴船)とし、回遊性のある船内空間の提供及び売店や免税店の充実を図るなど、安全と快適さを両立させ、楽しい船旅を実現できる船舶を目指しております。

なお、新型高速船のデザインは、「ななつ星 in 九州」及び「JR KYUSHU SWEET TRAIN 或る列車」など多くのJR九州の列車を手掛けてきた水戸岡 鋭治氏に依頼する予定です。

新型高速船の導入を目標とする2020年には、インバウンド4,000万人の時代を視野に入れ、日韓の交流人口も1,000万人を突破すると見込まれます。日韓航路においては新しい大航海時代の到来が予想されるなか、新型高速船は、福岡市が進める「ウォーターフロントネクスト」を見据えた新時代へのシンボルとして活躍することを目指してまいります。

1. MOUの締結式

- 日 時: 2017年12月8日(金) 16:00 ~ 16:30
- 場 所: 博多港国際ターミナル3階
- 参加者: JR九州高速船 代表取締役社長 水野 正幸
AUSTAL 副社長(Vice President) Ben Marland(ベン・マーランド氏)
在福岡オーストラリア総領事館 総領事 Ian Brazier(イアン・ブレイジア氏)

2. MOUの主な内容

- (1) JR九州高速船とAUSTALは、日韓航路をメインとする80m級の新型高速船(トリマラン:三胴船)の建造に向けて協議を開始
- (2) 新型高速船のデザインについては、ドーンデザイン研究所(代表者:水戸岡 鋭治)に依頼

3. AUSTALの概要

- 会社名: Austal Ships Pty. Ltd. (豪 AUSTRAL)
- 代表者: Mr. David Singleton(デイビット・シングルトン氏), Chief Executive Officer
- 概要等
 - ・ 2018年に創立30周年を迎える。本社はオーストラリア・西オーストラリア州 Henderson
 - ・ 54ヶ国約100社に対し、アルミ船300隻以上を建造(単胴船、双胴船、三胴船)
 - ・ 1998年12月、オーストラリア証券取引所上場
 - ・ 売上高13億AUD(2017年)

※新型高速船の外観(イメージ)



4. MOU 締結式の様子

